

## 【1】地元企業への若者就職支援を

私たちは「多可町巡り」をして、町内の企業、K 会社を訪問しました。高い技術で液晶パネルを製造するラインを見学し、広々とした清潔な工場内で真剣な眼差しで仕事をする社員の姿も拝見しました。海外にまで製品を輸出している工場の様子を伺い感心しました。

社長の話によると、地元の若者の就業が少ないそうです。地元には、町外からの進出企業が K 社をはじめいくつかがあります。町内の若者はどれだけ勤務しているのでしょうか。聞く所では多くないそうです。

町としても若者の就労の実態を調べるとともに、地元の若者が地元企業に就職できるように、会社紹介や高校との連携など積極的に就労支援をお願いしたいと思います。

## 【2】町の文化遺産の紹介を工夫して

私たちは、加美区の「命をかけて村民を守った義民、夏梅太郎右衛門の話」の講座を持ち、郷土の義民について学ぶことが出来ました。

また、ボランティアガイドさんの説明を聞きながら、山口茂吉の歌碑巡りをしました。その中でふるさとの偉人の業績を改めて知ることが出来ました。町内にはこのような歴史上の偉人や文化遺産などが多数あります。もっと町内の人々に知ってもらう方法はないのでしょうか。

町の観光協会では「歴史街道の地図」をつくり配布しています。それぞれの文化遺産についてはボランティアガイドの皆さんがいて、研修を積みガイドが出来る状況があります。たかテレビでは「歴史街道」の番組を通して紹介しています。にもかかわらず、そのことを知っている人がそんなに多くはありません。どうしてなのでしょう。

関係各位の努力は認めながら、それらを総合して知恵を出し合う場があるのではないのでしょうか。そのことで、町民が歴史を知り、郷土を誇りに思う心がさらに育っていくものと思われれます。

また、歴史街道を利用したウォーキングコースを設定して、PR したらどうでしょうか。健康づくりと一石二鳥だと思います。

### 【3】過去の暮らしの道具を整理（昨年に引き続き）

昭和の暮らしの道具や農具、また織物や凍り豆腐の地場産業の機械や道具が未整理のまま散らばっています。次世代の人々にそれらを残していきたいと思います。

町内には、使わなくなった幼稚園や保育園があります。そこを利用して整理展示して残したいと思います。

小学生が展示室を見学し、昔の生活や先人の努力や工夫を知ることは、とても大事なことです。また、古里を知り古里を愛する心も芽生えてくるものと思います。少しでも早く整備されることを望んでいます。